

資料No.「業務1-4-1」

教育情報アプリケーションユニット標準仕様
校務基本情報データ連携 小中学校版
【機能一覧】

V2.0



一般財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本資料の位置づけ	1
機能一覧	2

本資料の位置づけ

本書「教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ連携 小中学校版【機能一覧】」は、学習者情報アプリケーションユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を説明したものである。

機能は階層構造で定義されており、最下位の機能レベルは、一般的な機能の単位としての機能を、上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものである。

各業務ユニットを実装するにあたっては、本機能一覧と階層構造は異なってもよいが、少なくとも最下位レベルで定義された機能を持つことが必要である。

<<準拠ルール>>

： 各業務ユニットは、本機能一覧で定義される、最下位レベルの各機能を持つこと。（必須）

機能一覧		業務名
		学習者情報アプリケーションユニット
機能（レベル〇１）	機能（レベル〇２）	機能説明
AK01.1.指導要録情報連携	AK01.1.1.指導要録情報取込	連携情報を指導要録情報として取り込む
	AK01.1.2.指導要録情報出力	登録されている指導要録情報から連携情報を作成し出力する
AK01.2.学齢簿情報連携	AK01.2.1.学齢簿情報取込	学齢簿情報を学籍情報として取り込む

資料No.「業務1-4-2」

教育情報アプリケーションユニット標準仕様
校務基本情報データ連携 小中学校版
【機能一覧】

V2.0



一般財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本資料の位置づけ	1
機能一覧	2

本資料の位置づけ

本書「教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ連携 小中学校版【機能一覧】」は、学校保健アプリケーションユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を説明したものである。

機能は階層構造で定義されており、最下位の機能レベルは、一般的な機能の単位としての機能を、上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものである。

各業務ユニットを実装するにあたっては、本機能一覧と階層構造は異なってもよいが、少なくとも最下位レベルで定義された機能を持つことが必要である。

<<準拠ルール>>

： 各業務ユニットは、本機能一覧で定義される、最下位レベルの各機能を持つこと。（必須）

機能一覧		業務名
		学校保健アプリケーションユニット
機能（レベル〇１）	機能（レベル〇２）	機能説明
AK02.1.児童生徒健康診断票情報連携	AK02.1.1.児童生徒健康診断票情報取込	連携情報を児童生徒健康診断票情報として取り込む
	AK02.1.2.児童生徒健康診断票情報出力	登録されている児童生徒健康診断票情報から連携情報を作成し出力する